

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会 第6回会議【質疑要旨】

- ・日時 平成29年9月4日(月) 18:30～19:35
- ・会場 厚田保健センター 1階多目的ホール
- ・出席者 委員14名
 - ・保護者： 小笠原英史(厚田小PTA会長)、角田由希(望来小PTA会長)、早坂伊佐雄(厚田中PTA会長)、阿部 保(聚富小中PTA会長)、高畑幸恵(厚田保育園父母の会会長)
 - ・学校関係者： 昇 洋一(厚田小教頭)、田中 亮(望来小教頭)、三浦崇史(厚田中校長)、青山 司(聚富小中校長)
 - ・学校支援推進員： 渡邊教円(厚田小)、渡部賢二(望来小)、小林晴美(厚田中)
 - ・厚田区地域協議会： 佐藤勝彦(同会長)
 - ・学識経験者： 前田賢次(北海道教育大学札幌校准教授・教育方法学)

事務局〔市教委〕

佐々木生涯学習部長、松井教育指導担当次長、安崎総務企画課長、佐々木学校教育課長、照山指導担当参事、田村厚田保育園長(兼厚田生涯学習課長)、清水市民図書館副館長、櫛引こども家庭課長、松永総務企画課主幹、古屋総務企画課主査、西山厚田生涯学習課主査、中村建築担当主査、石黒学校教育主事

※傍聴者10名

【開会あいさつ(佐藤委員長)】

【新委員の紹介】

- ・平成29年度の各所属団体の役員改選、学校の人事異動に伴い、新たに3名の委員を委嘱。

| | |
|-------------|--------|
| 望来小学校PTA会長 | 角田由希 氏 |
| 厚田保育園父母の会会長 | 高畑幸恵 氏 |
| 聚富小中学校校長 | 青山 司 氏 |

(仮称) 厚田小中学校建設工事 基本設計について

- 校舎の配置計画について、安崎総務企画課長より説明。(別紙「配置計画案」参照)

【説明要旨】

学校、保育園、地域開放型図書館の複合施設として建設することと、体育館は改修して使用することを前提に、設計業者にはいくつかの案を提示してもらい、絞り込むこととした。

最終的に残ったのはオーソドックスな2階建て案と3階建て案だった。建設費については、2階建てと3階建てでおおむね変わらないとの報告を受け、敷地の有効活用と校舎使いやすさを検討した結果、3階建て案を基本設計とすることにした。

当初、給食センターと渡り廊下でつなぐ予定だったが、駐車場と校舎南側を結ぶことによる敷地の有効活用などの理由から接続はしないこととした。

校舎1階には、保育所と地域開放型図書館を配置する。学校の教室は、2階と3階に配置する。それによりうまく分離することが可能となった。また、それぞれの階に多目的室や特別活動室を均等に配置することが可能となった。

床面積はおよそ3,000㎡。駐車場は44台分を確保している。

玄関は、校舎南西側と北側に2箇所配置している。南西側は児童生徒と教職員の玄関、北側は保育所、図書館、開放用の玄関としている。車椅子の方は駐車場に車を停めて北側玄関を利用させていただく。

職員室は、児童生徒・来校者を確認できるように、1階玄関横に配置し、窓を設けることとしている。

廊下を挟んで、地域開放型の図書館と保育所を配置している。

教室の大きさは、現在の厚田中学校は8m×8mだが、統合校は、現在の聚富小中学校、望来小中学校と同様の7m×7mとした。開校時想定される児童生徒数から、複式であってもおおむね問題がないと考えている。

エレベーターを設置して、給食の搬送と体の不自由な方への対応を行うこととしている。

2階には校長室、保健室、小学校段階の特別支援教室、学年の区切りを意識して小学校1年～4年生までの教室、特別活動室、家庭科教室、音楽・視聴覚教室、多目的室を配置している。更に東側の角に防災備蓄庫を配置している。特別支援教室は、保健室とトイレに近い位置に配置している。

3階には小学校5・6年の普通教室、中学校段階の特別支援教室と普通教室、特別活動室、多目的室、理科教室、図工美術・技術教室を配置している。2階と3階の特別活動室は、児童生徒会室としてのほか、複式が単式となった場合、普通教室として使用できるように想定している。

全体にデザイン面で大きな冒険などはしていない。コンパクトにまとめた印象がある。今後何らかの形で、厚田の学校という特色を出すような仕上げができないかを検討したい。

→ 引き続き、保育園（1階部分）について、田村厚田保育園長より説明。

【説明要旨】

保育園部分の詳細の間取り（レイアウト）について、現在検討中である。

これまでは僻地保育所であったが、今回校舎内に設置する新・厚田保育園は、平成27年4月に国が定めた「子ども・子育て支援新制度」のうち、地域型保育への移行を視野に入れつつ、当

分の間はその一つである定員 19 名以下の小規模保育事業として、0 歳のお子さんから預かることができるような施設設計を行っている。

また保育料については、小規模保育事業への移行によって、認可保育所等に準じることとなり、現在の減免制度ではなく、石狩市教育・保育の実施に関する規則に定める金額となる。このことにより、保育料は市町村民税所得割合算額や年齢等、個々のケースによって変わることとなる。

(A 委員)

・特別支援教室の間仕切りはどのように考えているのか。

→ 例えば、情緒や知的など複数の学級になる場合には、間仕切りが必要となるので、開校時の状況に応じて間仕切りを設置する予定である。

(B 委員)

・屋根の形状や利用方法などはどのようにするのか。

→ 真四角の形で、防水加工を行い、周りが立ち上がるような設計を考えている。また、屋上の使い方は未定であるが、資料の左上の面積表に塔屋について記載しており、屋上に上られるように設計している。

(佐藤委員長)

・内部（各教室）の仕切りやドアなどの細かな部分について、今後報告をいただく機会はあるのか。

→ 後ほど工程の説明をさせていただくが、来年 2 月の実施設計が仕上がったときに報告させていただく。

(A 委員)

・体育館はこのまま使うことになるのか。

→ 改修して使うことになる。どこを改修するかはこれから検討していく。

教育課程部会の設置について

- 別紙「設置要項」について、松永総務企画課主幹より報告説明。
また、各分科会の活動時期と併せ、現時点における「開校に向けた工程表」を説明。

【説明要旨】

教育課程の編成権（責任者）は、校務をつかさどる学校長である旨、関係法令、規則等で定められているが、現時点で新設校の学校長が決まっていないことから、平成32年の開校までの間、4校の校長による協議を行いながら、統合校における「めざす学校像・児童生徒像・教師像」を定めた上で、学校の長期的な目標、柱である「教育目標」を策定するとともに、平成32年度・開校年度の年間指導計画となる「学校経営方針」を、これから策定していくことを明記している。

そして、その教育課程の細部（具体的な内容、枝の部分）について、それぞれの原案を作成するために、7つの分科会を構成して、平成32年度に向けて調査研究、策定に向けた活動を行っていくこととした。

7つの分科会の活動の時期について、29年度は「①移転・受け入れ分科会」と「②9年間を見通した教育課程分科会」の活動が始まることとなっており、来年8月の厚田中の厚田小校舎への移転に係る準備作業の洗い出し、段取りについて、両校と市教委との連絡調整が進められているほか、9年間の学年割を決定することとしている。

学年割については、基本計画に掲載のとおり、市教委では「4・3・2」を前提に進めていることをお伝えしているが、複式編成による義務教育学校の全国・全道の事例、実践校の調査研究をもう少し進めたうえで、理由・根拠、効果などを整理して最終決定し、設立準備委員会や地域の保護者の皆様にお知らせしたいと考えている。

そこで、教育課程部会を設置したことを受け、平成32年度開校までの間、市教委、学校設立準備委員会、各学校の三者が、それぞれどのように活動し、またどのように連携した活動を行っていくかを共有することができればということで、あらためて現時点での「開校に向けた工程表（A3版）」をお示しすることとした。

教育課程部会（分科会）は、この設立準備委員会に付属するものなので、その活動状況や協議内容について、この会議などで委員の皆様にお知らせすることを申し添える。

あらためて「教育課程」の部分では、小中一貫、複式編成の義務教育学校という視点に留意したなかで、「めざす学校像、児童生徒像、教師像」と「学校教育目標」について、関係4校の校長と市教委によって協議を行っているところであり、年明け1月を目途に決定し、その後、32年の開校までの間、柱となる学校教育目標に基づいて、各分科会での研究活動が行われることとした。

「学校整備の動向」のところでは、29年度は、校舎の基本・実施設計を年明け2月を目途に決定するとともに、30年度（来年）8月から本格的に始まる一連の動き、厚田中の移設や校舎建設・体育館改修工事関連の予算を編成し、30年3月の市議会に提案することとしている。

30年度では、6月予定している文科省の国庫補助の採択を受けた後、8月に厚田中学校の校舎の解体工事を皮切りに、新校舎の建設工事と屋内体育館の改修工事が始まることとなってい

る。

この設立準備委員会は、次回第7回の会議を年明け2月頃に開催を予定しているほか、30年度は、学校名・校章を決めること、31年度は、校歌を創ることが、大きなミッションとなっており、それらの決め方・公募の方法なども含め、協議して取り進めていきたいと考えている。

→ 教育課程部会の設置について了承を得る。

(C委員)

・来年8月の厚田中の厚田小校舎への移転については、どのように進めるのか。

→ 現在、厚田中で使用・保管している学校備品等に移すためのスペースをどのように確保するかということで、古くなっている備品の処分方法なども含め、先生方の協力をいただきながら、現地調査や移設の具体的なスケジュールや段取りについて検討を行っている。スムーズに移設できるよう取り進めていく。

会議録署名

上記会議の経過を記録し、その相違ないことを証するため、ここに署名します。

平成29年12月21日

(仮称) 厚田小中学校設立準備委員会

委員長 佐藤 勝彦